

てよによ頭

安平町長

及川 秀一郎



町民の皆様、明けましておめでとございます。

輝かしい新春を迎え謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

皆様には、日頃より町政各般にわたり深いご理解と温かいご支援を賜り、心から感謝を申し上げます。

平成30年北海道胆振東部地震から3年が経過しました。私が就任した年に震災が発生したところですが、この間、町民の皆様の生活再建を最優先に復旧・復興に全力で取り組んでまいりましたが、真の復興への道のりは道半ばであります。甚大な被害を受け、仮設校舎での学校生活を余儀なくされた早来中学校

の再建に向け、未来へつながる復興を目指すとともに、今後においても、将来にわたって子どもたちの声が地域に響き、町づくりの原動力となる若者や子育て世代で賑わうまちを実現するため、災害に強い町づくり、安心・安全な町づくりに向け、引き続き取り組んでまいります。

昨年も新型コロナウイルス感染症の影響により、地域活動の多くを自粛せざるを得なくなり、例年、開催してきたイベントや地域行事について縮小、中止を余儀なくされる状況が続きました。人々の価値観や生活スタイルが大きく変わる状況となった今日、町民の安心・安全を最優先に、感染拡大の防止に努めてきたところであり、特にワクチン接種については、昨年4月下旬より医療従事者に対する先行接種を開始して以降、2回目接種率は対象者の9割近くとなり、町民の皆様のご理解とご協力に深く感謝申し上げます。引き続きご自身や、周りの方、そして地域を感染拡大から守るため、それぞれの

日常生活において、ご自身の生活に合った「新しい生活様式」を実践していただければ幸いです。

一方、軽種馬産業においては、天皇賞や日本ダービーなどの国内主要レースはもとより、香港、アメリカなどの海外G1レースでも多くの安平町産駒が優勝し、歓喜をもたらしましたが、今年も多くの産駒が国内外のターフを疾走し、大いに活躍することが望まれます。

昨年7月には前回開催から57年ぶりとなる「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」が開催され、町内で実施を予定しておりました聖火リレーにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により中止という大変残念な結果となりましたが、参加選手の諦めることなく、努力を積み重ねてきた姿は、世界中の子どもたちにとって挑戦することの大切さや、人間の持つ果てしない可能性を感じ取ることができた、またとない機会であり、こういっただけをきつ

けに町民の皆様が少しでも元気になっていただくことを期待しているところであります。

残されました任期もわずかではありますが、今後とも町民皆様と手を携え「チームあびら」の合言葉のもと「育てたい 暮らしたい 帰りたい みんなで未来を駆けるまち」の実現のため、より一層お力を貸していただきますようお願いいたします。

結びになりますが、すべての世代が住んで良かったと思えるまちを実現するため、安平町の強みを活かし、未来を担う子どもたちが輝き、活躍できる地域社会を形成し、子育てしやすいまち、生涯住み続けたいまちに向けて町民の皆様と協働しながら邁進する所存でありますので、引き続き温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

新しい年が、皆様にとりまして、希望に満ちた幸多き年となりますよう、心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

頌春

安平町

町長 及川 秀一郎
副町長 田中 一省

安平町議会

議長 長 牧田 弘満
副議長 長 田村 興文
議員 箱崎 英輔

小笠原 直治
吉岡 政昭
鳥越 真由美
工藤 秀一
三浦 恵美子
梅森 敬仁
米川 恵美子
多田 政拓
工藤 隆男